



## お願い・ご報告

- 新年度、スクール18年目がスタートしました。この1年の祝福を祈りましょう。
- 今年度、石川優実先生（中学部担任 国語）、雨宮久美子さん（保護者担当）が入ります。また、講師として、KK先生（聖書・CB）、OJ先生（フラワーアレンジメント）、SA先生（パステルアート）が入ってくださいます。よろしくお願いします。
- 新年度、AHさん（小1）、TOさん（小1）、SKさん（小2）、EKさん（小4）、SKさん（小5）、EAさん（小6）、TEさん（中1）、HSさん（中1）が入学しました。よろしくお願いします。
- 日頃より規則正しい生活を心がけ、十分な睡眠と朝食をとって登校しましょう。健康管理に気を付け、健康で安全に登校できるように、ご家庭のご協力をお願いします。特に、新型コロナウイルス感染防止のために、朝の健康チェックにご協力ください。登校前に、ご家庭で生徒の検温や体調のチェックを行い、本人の体調が悪い、発熱している、咳や喉の痛みがある場合、また、家族の体調が悪い時は、登校を控えてください。スクールの活動は、衛生・安全に配慮（手指消毒・うがい、室内の換気・消毒、密集を避ける等）して行いますが、皆さまのご協力をお願いします。
- 「欠席」「遅刻」の際は、8時35分までに、必ず担任にご連絡ください。また、スクールバスをキャンセルする際は、7時30分までに平野まで、ご連絡ください。
- 持ち物（記名）、提出物の確認をお願いします。また、忘れ物のないようにご協力ください。
- 何かご心配なこと、お気づきのこと、ご質問などありましたら、遠慮なくスクールにご連絡ください。
- スクールのホームページ外観をリニューアルいたしました。スクールの雰囲気や日常の様子などをご確認いただけますので、是非ご利用ください。

## 今月のみことば

イエスは彼女に言われた。『わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は死んでも生きるのです』ヨハネ 11:25

Jesus said to her, "I am the resurrection and the life.

He who believes in Me, though he may die, he shall live. "

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

## 祈祷課題

1. 新年度のスタートが祝福され、新歓行事等を通して新入生達が安心して学校生活をスタートできるように。
2. スクール関係者の皆さんがコロナ感染やすべての災いから守られ祝福されるように。
3. スタッフ一人ひとりが主からの知恵をいただき喜びをもって指導にあたることのできるように。
4. 高等院 HOPE や学童もそれぞれ祝福されるように。



# のあインターナショナルスクール スクール通信 4月号

2022.Apr. 1 Vol.178

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10  
TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

## 4月、新たな出発点、成長のカギは信頼と尊敬にあります

校長 月井 博

成長する…楽しみである反面、いろんな悩みや困難を抱えることは、その過程でもあります。私自身も、自分の小学校から高校にかけての成長期を振り返ったとき、家庭の中での痛みや乗り越え切れない困難に遭遇したことをいくつか思い出します。しかし振り返ると、それらの出来事や避けられない状況の一つ一つが、自分の成長の糧になったと、今は心から思います。

私が小学5年生のときに、私の父親と母親が離婚しました。私は当時一人っ子で、父のもとに残されましたが、父の目を隠れて私に会いに来る母親に会うのが楽しみでした。父親のことは大嫌いで、母親が大好きだったからです。そんな中でやがて、父親は再婚し私の人生に、新しい、2度目の母親が登場しました。いわゆる継母です。ですから私はその継母に対して当初、距離をおいていました。しかしその母親の財布からお金を盗んだのがきっかけで、でも、それを咎めずに、どうしてそのような気持ちになったのかを丁寧に問いかけてきてくれる継母に、心を開いて自分の気持ちや動機を説明することができました。そのことがきっかけで私は、その継母を信頼し、やがては尊敬できるようになっていきました。

その後の私の人生の、良い意味での変化には、目覚しいものがあります。一人の信頼できる人、尊敬できる人との出会いは人生に大きな変化をもたらしますが、実は私たちは相手を選ぶことなしに信頼し、尊敬することができるのです。それは、私たち自身の、「心の姿勢」の問題だからです。尊敬という言葉は少し硬いので、「敬う」という言葉に置きかえましょう。「敬う」ということは、相手の存在を自分よりも大切な存在として受け止める、ということです。この、自分の立ち位置を相手よりも少し低いところに置くことがポイントです。そんな姿勢を、私たちの側で、だれとでもしっかりと維持するなら、相手もやがては同じ姿勢になって、私たちに答えてくれるようになります。信頼すること、敬うことの反対は、相手を裁くこと、また無視したり拒んだりすることです。私たちが相手を裁いたり拒んだりし始めると、そのお互いの心の関係の中に壁を作り、猜疑心が入り込んだり、喧嘩になっていったりしてしまいます。私たちは気をつけないと、人を裁いたり拒んだりしやすいのです。それを避けて「信頼」と「敬う心」の中に生きるなら、私たちは色々な意味で成長することができます。成長とは、愛し合うことを学んでいく過程なのです。

成長期において、友だちや先生方を信頼し、敬って歩むことができることは、知的な成長においても、人間的な成長においても、とても必要なことです。その信頼して敬う関係の中から、先生方からも、友達からも、知的な財も含めて、良きものをたくさんいただくことができます。そのときに、わたしたちは、自分が想像する、はるか以上に成長することができます。

お父さん、お母さん方にも、ぜひお願いしたいと思います。ご自身のお子さんを、まず心から信頼し、その存在を敬ってください。成長するエネルギー・力は、彼ら自身の内にあります。天におられる父が、私達を信頼して、私達に託してくださった子供たちです。私たちが子供たちを信頼し、その存在を敬って彼らに接していく時、天の父ご自身が彼らを成長させてくださいます。

## 4月のカレンダー

日	月	火	水
3日	4日	5日	6日
10日	11日 クラスオリエンテーション スクールイスター① (12時下校)	12日 全体オリエンテーション 防災散歩、スクールイスター② 清掃・昼食開始(13時30分下校)	13日 小学部・中高等部礼拝(1限) 遠足オリエンテーション 昼食あり(13時30分下校)
17日 Nさん、 Eさん誕生日	18日	19日	20日 合同礼拝(1限)
24日	25日	26日	27日 小学部・中高等部礼拝(1限)

- ・ 11日(月)、12日(火)、13日(水)は、特別期間となります。配布しました予定表でスケジュールをご確認ください。12日(火)より、昼食開始です。昼食は、弁当持参あるいは“まってる”の昼食が利用できますのでお申し込みください。
- ・ 14日(木)は、1～5限の通常授業開始です。
- ・ 15日(金)、新入生歓迎行事として、全校遠足を行います。詳細は後日ご連絡いたしますのでご確認をお願いします。
- ・ 自転車安全点検を下旬に行います。自転車通学の生徒の皆さんは、事前に自転車の整備をして点検に臨んでください。

## <スクールアルバム>



祝福の卒業式(ダイヤモンドチャペルにて)



花の高3トリオ



中学卒業おめでとう

中学でも天才なるか!

ヤダ ICS 交流会向けの  
成果発表(高等部)



中学部、卒業遠足(箱根)  
怖いつり橋、皆で渡れば怖くない  
寄木細工に集中。できるじゃん!



木	金	土
	1日	2日 Sさん誕生日
7日	8日 入学・進級式（11時50分下校）	9日
14日 通常授業開始 1～5限 （14時50分下校）	15日 新入生歓迎遠足	16日  Yさん誕生日
21日	22日	23日
28日	29日	30日

**子育てnote** \*今年度は子育てのアドバイス、ヒントなどをお届けします。ご期待ください！\*

昨年9月半ばに生まれた、私たち夫婦にとっての九人目の孫が、先日初めて母乳ばかりの食生活から固形物を少し摂取するようになりました。固形物とは言っても、りんごを少し削って食べさせてあげるだけですが、それでも大きな変化です。この赤ちゃんには、その上に三人の、とても面倒見の良い兄さん姉さん達が居て、その周りにはいつも賑やかです。その家族が、先日我が家に食事に来てきた時には、その赤ちゃんを除いた全員が食卓に着いたのですが、その赤ちゃんは、部屋の隅っこで、それまで遊んでいたおもちゃと遊び続けていて、私たちの方を見ても何も気にしない様子でした。私は赤ちゃんの、その安心感いっぱいの様子には少し驚きました。子供にとって、成長する過程の、家庭の雰囲気が大切です。その雰囲気を作る核となるのが、大人であるお父さんとお母さんの関係です。その関係は、日頃の 私たちの立ち居振る舞い、スマホとの関係、関わり方、何が親の頭を占めているのか、親たちそれぞれが抱えている他の人たちとの関係…それらによって大きく変化していきます。でも、それらのことを一切脇に差し置いて、親が、その子の心に耳を傾ける時、その子自身に十分に目を向ける時が必要ではないでしょうか。

先ほどの赤ちゃんは、自分が見つめられている、話し掛けられている、泣いた時その声を聞いてもらっている、必要なケアをいつもしてもらっている…そのような心の抱える必要の全てが満たされているので、たとえしばらくの間、自分がひとりぼっちになっても、満足感があり安心していられるのです。そのような、心の基本的な必要は、赤ちゃんの時だけではなく、成長期にある子供達もいつも抱えています。ただ、その成長に合わせて、見つめ方、聞き方、会話の仕方を工夫していかなければなりません。

校長 月井博